

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			活動時などスペースが手狭になる場合には市民会館共有スペースや地域資源を活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			保護者支援、計画立案など経験を基に組み立てられるよう、人材育成に努める必要がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		パネルカーペットや衝立が緩んでいることがあり、都度メンテナンスして対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			2週間に1回の療育時に意向を聞き、プログラム内容に反映している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	第三者評価をうける時期について検討中であるため。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			PEP3、WISCIV、新版K式発達検査、TTAPを行うことができる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			
	13	発達ニーズに応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と地域生活での支援を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			グループ活動では、こども達同志で話し合うことを大切にして、それぞれの興味を活かして地域資源を活用し展開することができている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			職員同士でシミュレーションを行っている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>				
17	日々の支援に関して丁寧に記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>				

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		市町村の委託によって発達障がい療育等支援事業を実施しているため、タイムケアの概念は持たない。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		常時保護者と一緒に通所・参加するスタイルのため、療育記録を持ち帰って頂き、それを介して情報共有している。また、サービス担当者会議等に参画している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		必要な時には保護者の了解を得て直接連絡をとるようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必要な機会ごとに保健センター等行政機関との連携を行い、年度末にはこどもの所属機関等を交えて引き継ぎをしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		取り組み記録を保護者を通じて情報提供している。またご家族、機関の要望があった場にはカンファレンスに参画している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携しているか	○		
	26	地域生活において、地域の子どもたちと触れ合う機会、活動する機会があるか	○		母体の事業所と合同で住民参加の祭りを行ったり、富田林市民会館主催のイベントにて模擬店を年2回出店している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会(児童部会)の前身であるネットワーク会議に参画している。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		発達の状況を保護者にわかりやすく説明することや、プログラムの内容を広げるための職員のスキルアップ研修を図っている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35	個人情報に十分注意しているか		○		機械操作の確認が不十分なことがあった。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			意思の疎通を広げるためのツール(PEGS)やアプリを常時使用している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			可能な限り、見学や実習の受け入れは行っているが、利用児の特性に応じた受け入れになるので、常時受入とは限らない。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			近隣テナントとの合同避難訓練の機会がある。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を行わざるを得ない事例が想定される場合には、計画に記載をしますが、開所以来一度も機会がなく実績はない。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			指示に基づき、プログラムの内容や食材等を一人一人変えることができる。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			月2回、会議の機会に集計と今後の検討について話合いをしている。	